

横浜市立西本郷小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

○子どもたち一人ひとりがかがやき、認め合い、伝え合い、高め合う子を育てるために、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。

- ・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力の向上を図ります。
- ・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、安心して、楽しく学校生活を送れるようにします。
- ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。
- ・まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。
- ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、社会・地域の要請や信頼に応えた学校づくりを進めます。
- ・全教職員が学校経営に主体的に参加し、活力のある学校づくりを推進します。”

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

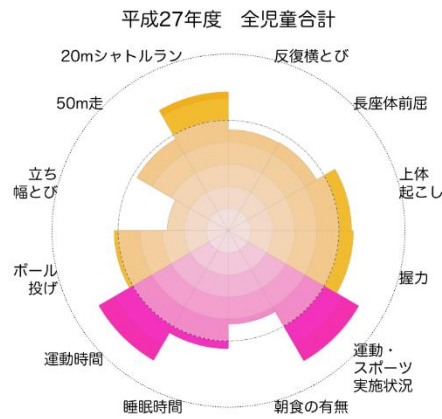
重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	健やかな体	子どもの体力・健康面の姿から課題を明確にし、体力向上一校一実践運動の「体育朝会」を中心としながら、教育活動全体を通して体力向上を目指す。	①月一度の体育朝会の中でラジオ体操や縄跳び運動を実践する。 ②体力テスト等の結果をもとにした、体力向上一校一実践運動の改善を図る。 ③保護者の理解のもと「健康で安全に過ごすための生活習慣づくり」を推進し、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。
	体育部		

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・市の平均に比べ、朝食の摂取率がやや低く、毎日食べていない子どもが数名いる。
- ・睡眠時間が短くなっている。
- ・運動、スポーツの実施状況では、過半数の児童が毎日遊んでおり、市の平均を大幅に上回っている。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、ほとんどの項目が市平均と同等の記録が出ているが、立ち幅跳びは大幅に下回る。また、反復横跳び、長座体前屈も平均を下回る学年が多い。柔軟や体を大きく使うような運動経験が豊かではないことが考えられる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取り組み》

- 体育科では、できる喜びを感じ、運動の楽しさを味わうことができるようにし、運動に進んで取り組むことができるように体育の学習の充実を図る。
- 体育課の職員研修を充実させ、運動の有効な指導法について職員間の情報交流を豊かにする。

《他教科での取り組み》

- 家庭科では、一日の生活時間を見直して、栄養のバランスが取れた朝食をとる必要性がわかり、朝食のおかずづくりをします

道徳・特活・総合

- 運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、運動の楽しさを感じられるようにする。また準備体操として、全校でのラジオ体操を実施することで、さらなる運動への理解を図る。
- 児童運動委員会運営の「長縄月間」では、長縄跳びの全身運動を推進するとともに、目標に向かってクラスで協力しあう大切さを学びあえるようにする。

児童会活動

- 学校保健委員会では、「健康で安全に過ごすための生活習慣づくり」をめざし、重点課題を決め、各クラス、委員会等で話し合い、睡眠、掃除、生活環境等について考える。

学級活動

- 「元気いっぱいすくすく育て、わたしのからだところ！～西桜丸さんといっしょに、楽しく体力、健康づくりに取り組みからだところの元気アップ大作戦！～」をテーマに、各学級で話し合い、体力、健康づくりについての取り組みを実践していく。さらに、月一回振り返りを行い、体力、健康づくりについての意識や行動を高めていく。

＜平成30年度西本郷小学校 体力向上1校1実践運動＞

《名称》体育朝会の実施

《ねらい》全身を動かす運動の機会の確保、教員の指導力向上

《内容》月一回ラジオ体操と縄跳び運動を中心とした内容の体育朝会を行い、全校での体力の向上を図る。

●指標①新体力テスト

②年度末の各学級におけるふりかえり